

WCRL ラリーオビディエンス

Level 3

レベル3のコースは、20～22枚のサインで構成される（「Start」、「Finish」及びボーナスエクササイズは除く）。全てのコースはオフリードで行われる。

レベル3 エクササイズ内容

 <p>49</p> <p>March 2010</p>	<h4>49. 前進中の立って一犬の周りを回る</h4> <p>前進中、ハンドラーは犬に立たせて待たせる指示を出し、立ち止まることなく犬の周りを回ってヒールポジションに戻る。ヒールポジションに戻って前進する際に、立ち止まっても、すぐに前進してもよい。</p>
 <p>50</p> <p>March 2010</p>	<h4>50. 前進中の立って一犬から離れる</h4> <p>このエクササイズは2つのサインからなる。 1枚目のサインで、ハンドラーは犬に立たせて待たせる指示を出し、立ち止まることなく、1.8m～6m離れた2枚目のサインまで離れる。</p>
 <p>51</p> <p>March 2010</p>	<h4>51. 振り返ってヒールポジションへ呼び戻し</h4> <p>このサインで、ハンドラーは振り返って犬と対面し、正面で座らせることなく直接ヒールポジションに入るよう犬を呼び戻す。ヒールポジションまで来させたら、犬を座らせても、座らせずに次のサインへ進んでもどちらでもよい。ハンドラーは犬を立たせるために犬の体に触れてはいけない。</p>



52. 前進中の立って一犬から離れる

このエクササイズは2つのサインからなる。
1枚目のサインでハンドラーは犬に立たせて待たせる指示を出す。指示を出す際、ハンドラーは立ち止まってもよい。その後ハンドラーは、1.8m～3m離れた2枚目のサインまで離れる。



53. 振り返る—ふせ—おすわり—呼び戻し—正面でおすわり—ヒールポジションに戻す

このサインで、ハンドラーは振り返って犬と対面する。ハンドラーは犬に、ふせ、続いておすわりを指示し、その後正面のおすわりへと呼び戻す。犬が正面で座ったら、ハンドラーは、左右どちらかから犬をヒールポジションに入れるように指示を出す。犬が姿勢変える動きの際に前進した場合は減点となる。



54. 前進中の後退—ヒールポジションで3歩後退—前へ進め

ヒーリング中、ハンドラーは犬に、立ち姿勢から後退するよう指示を出す。犬を、ハンドラーに合わせてヒールポジションのまま後退させながら、ハンドラーも後方に3歩下がる。このエクササイズ中のいかなる時点でも、犬が座った場合は減点となる。



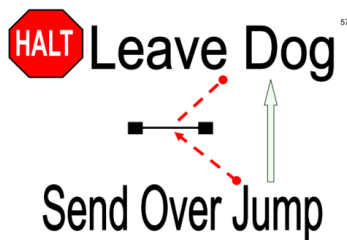
55. 止まれ（おすわり）—犬から離れる—ジャンプを経由して呼び戻し

このエクササイズは2つのサインからなる。
ハンドラーと犬は、ジャンプから片側へ3m～4.5m離れた中央で停止する。ハンドラーは犬に座って待つよう指示を出して犬から離れ、ジャンプの脇を通過してジャンプの反対側3m～4.5m離れた中央にある2枚目のサインへと進む。



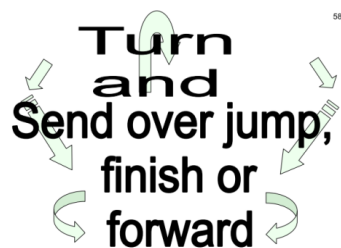
56. 振り返る—ジャンプを経由して呼び戻し—ヒールポジションに戻す

ハンドラーは振り返って犬と対面し、正面に犬を呼び戻す。犬はジャンプを跳び越えてハンドラーの正面に座らなければならない。その後ハンドラーは犬に、左右どちらかから、ヒールポジションに座らせる、もしくは、ヒールポジション戻して座らずに前進するかの指示を出す。



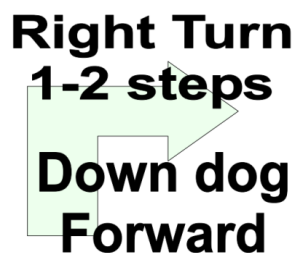
57. 止まれ（おすわり）—犬から離れる— ジャンプへの送り出し

このエクササイズは2つのサインからなる。
ハンドラーと犬は、ジャンプから距離3m~4.5m、スタンドから左右どちらかへ幅1.2m~1.8m離れた1枚目のサインで停止する。ハンドラーは犬を座らせて犬から離れ、スタンド外のままジャンプの反対側3m~4.5m離れた2枚目のサインへと進み、まっすぐ犬と対面する。



58. 振り返る—ジャンプへの送り出し— ヒールポジションに戻す

このサインで、ハンドラーは犬にジャンプを跳ばせる指示を出す。指示を出す際に、ハンドラーがジャンプに近づいた場合は減点となる。犬はジャンプを跳び越えて来なければならない。犬がジャンプすると同時に、ハンドラーは、犬が正面に座れるよう、ジャンプに向かってわずかに方向を変えてもよい。ただし、犬に向かって前進してはならない。その後ハンドラーは犬に、左右どちらかから、ヒールポジションに座らせる、もしくは、ヒールポジション戻して座らずに前進するかの指示を出す。



59. 右へ進め—1~2歩前進してふせ—前へ進め

ハンドラーと犬は右へ曲がり1~2歩進んだ後、ハンドラーは犬にふせをするよう指示をして停止する。
方向転換の部分についてはエクササイズ7と、ふせの部分についてはエクササイズ45と同様に行う。



60. 左へ進め—1~2歩前進してふせ—前へ進め

ハンドラーと犬は左へ曲がり1~2歩進んだ後、ハンドラーは犬にふせをするよう指示をして停止する。
方向転換の部分についてはエクササイズ8と、ふせの部分についてはエクササイズ45と同様に行う。



61. 止まれ（おすわり）－犬から離れる－呼び戻し中のふせ

このエクササイズは2つのサインからなる。1枚目のサインでハンドラーは犬に座って待つよう指示を出し、2枚目のサインに向かって少なくとも4.5m離れる。

62. 振り返る－呼び戻し－ふせ－呼び戻し－ヒールポジションに戻す

このサインで、ハンドラーは振り返って犬と対面し、犬を呼び戻す。犬が向かってきている間に、ハンドラーは犬にふせるよう指示を出す。指示を出す際に、ハンドラーが前進した場合は減点となる。犬がふせたら、ハンドラーは残りの距離を呼び戻し、犬を正面に座らせる。その後ハンドラーは犬に、左右どちらかから、ヒールポジションに座らせる、もしくは、ヒールポジション戻して座らずに前進するかの指示を出す。



63. 正面でおすわり－まわれ右もしくはまわれ左をして前へ進め

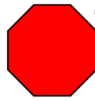
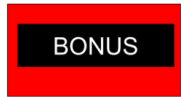
正面でおすわりの部分についてはエクササイズ15と同様に行う。続いて、ハンドラーは右または左に180°回転し、ハンドラーの回転と同時に、犬はヒールポジションへと移動する。



レベル3 ボーナスエクササイズ内容

ボーナスエクササイズでは、追加ポイントを獲得できる。コース内でNQとなってしまったパフォーマンスは、ボーナスエクササイズも0ポイントとなるが、合格点であれば、ボーナスとして適用される。ボーナスエクササイズは、リトライはできない。

	<p>ボーナスエクササイズ1. 振り返って止まれ（おすわり）ーレトリリーブー ヒールポジションに戻す</p> <p>コース開始前に、ハンドラーはスチュワードまたはジャッジにレトリリーブさせる物品を渡す。ハンドラーと犬がこのサインまでヒーリングしてくる際に、スチュワードまたはジャッジは、サインから約4.5m離れた床にレトリリーブ物品を静かに置く。これは、物品を置くところを犬に見られないよう、ハンドラーと犬がスチュワードまたはジャッジに背中を向けている間に行われる。</p> <p>ハンドラーと犬は、サインで方向転換して停止し、犬はヒールポジションで座る。ハンドラーは犬にレトリリーブ物品を確認させたのち、物品を取って来るよう犬を送り出し、戻ったら正面で座らせる。ハンドラーは犬から物品を受け取り、左右どちらかから犬をヒールポジションに戻す。</p> <p>レトリリーブさせる物品は、おもちゃ、ボール、ダンベル、手袋、バンパーなどを用いてもよいが、音が出るもの（目の見えない犬の場合を除く）、食品、食品を含むものは用いてはならない。</p> <p>注）レトリリーブがこのエクササイズの主要部分である。ボーナスポイントを獲得するためには、犬がレトリリーブ物品の所まで行き、それをくわえ、ハンドラーのもとへ戻ろうとすることが必要となる（5点）。残りのボーナスポイントについては、エクササイズの残りの要素を完了させた犬に与えられる。</p>
	<p>ボーナスエクササイズ2. 正面でおすわりー3歩後退</p> <p>前進中、ハンドラーはエクササイズ15のように犬を正面のおすわりに呼び込む。犬が正面で座ったら、ハンドラーは犬に後退を指示し、3歩前進する。ハンドラーは、自分が前進することによって犬を動かすようなことはしてはならない。犬を後退させる前に、立たせる指示を出してもよい。後退中に犬が座った場合は減点となる。犬はハンドラーの正面で直線上に後退しなくてはならない。ヒールポジションに戻すことはしない。</p>



Level 3
Bonus Exercise 3
Sign 1

Halt

Stand With Distraction

March 2010

ボーナスエクササイズ3. 止まれ（おすわり）ー刺激の中での立ってー ヒールポジションに戻るー立ってから前へ進め

このエクササイズは2つのサインからなる。
1枚目のサイン（Halt Stand With Distraction）でハンドラーは停止し、犬はヒールポジションで座る。ハンドラーは、ヒールポジションから外れるか、規定に準じて姿勢を取らせるか、もしくはただ立つよう指示を出すかして犬を立たせる。ハンドラーは、犬を立たせる補助として手で犬に触れてもよいが、身体的に、強制してまたは持ち上げて犬を立たせてはならない。その後ハンドラーは、ヒールポジションに戻って犬に待たせる指示をし、1.8m先まで犬から離れ、犬と対面する。ジャッジは、ハンドラーの位置に戻りながら、犬の周りを歩く。



Level 3
Bonus Exercise 3
Sign 2

**Return
&**

Forward from Stand

March 2010

2枚目のサインは、ハンドラーが犬から離れ犬と対面した時に見る事が出来るよう配置されている。
ジャッジがハンドラーの横まで戻った後、ハンドラーは、自身の右側（犬の左側）から犬の横を通り過ぎ、犬の後ろを回ってヒールポジションへと戻る。続いて、ジャッジからの指示なく、ハンドラーは犬にヒーリングの指示を出して前進する。